

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	16
事業名	空家等対策経費	会計	款	項	目
		一般	8	5	1
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施 策	9-1 良好な居住環境の形成	係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の空家	目的（対象がどのような状態になっているか）	空家の適正な管理が行われ、また空家利用希望者が利活用できていく状態
事業内容		東員町空家等対策計画に基づき、実態把握(定期的な空家等調査・所有者等への意向調査)、発生抑制・適正管理(所有者等への啓発、適正管理の促し)、利活用(空き家・空き地情報バンク制度の充実)を行う。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	空き家の活用数	0	0	0	件	↑	2	
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円） A+B				8,162		4,228		6,133	
財源 内訳	直接事業費 A			5,390		400		2,497	
	うち一般財源			4,721		250		1,522	
人件費（千円） B				2,772		3,828		3,636	
内訳	一般職員（人・千円）			0.42	2772	0.58	3828	0.54	3564
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0	0.04	72

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	空家対策を効果的に進めるためには、町民、地域、NPO等の団体、行政が連携することが重要であり、具体的な方法を検討する必要がある。	③取組の課題	空家等対策計画に基づき、空家対策を進めていかなければならない。新たな空家の発生を抑える取り組みが重要である。
②R5年度に実施した取り組み	空家対策セミナーや自治会出前講座を実施した。また、管理不十分な空家については、適宜、指導を行いました。	④今後の改善計画	空家対策を効果的に進めるために、各自治会への出前講座を引き続き実施し、空き家の発生抑制の取り組みを強化していく。